

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月29日

事業所名 そら

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		1階部分117.44㎡において定員10名の療育スペースを十分確保	
	2	職員の配置数は適切である	○		特性に応じたきめ細かい支援ができるよう基準以上に配置。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		階段やトイレの手すり、玄関スロープの設置、室内のバリア	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々の打ち合わせや、振り返り、スタッフ会議で協議を重ね、業務改善に取り	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		日々のきめ細かな連携のもと意向を把握し業務改善に繋げている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPで公開、各家庭に配布。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		次年度に第三者評価を実施の予定。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		専門性の高いスタッフを採用、内部で常に研修を積み上げて	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		アセスメントに基づき適宜見直し、ニーズと課題を分析し計画に反映。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		次年度は、更に簡便なルールを使用。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当者会議を行い立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ことば・学習・運動・手技・クッキングを取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		ゆったりした環境の中で、動と静のバランスを考えて	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動の充実と集団活動を工夫して計画を作成。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援開始前に、療育上の問題点を協議し、支援内容や役割を確認。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援が適切であったか振り返り、改善すべき課題を見つけ記録し、共有している。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録簿には支援の在り方に対し子どもの反応を逐一記載し検		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		保護者のニーズや子どもの願いをすりあわせ検証し見直している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		複数の基本活動を基つき支援。		

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校との情報共有、連絡調整に努めている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	該当者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		保護者の了解のもと、適切に情報共有と相互理解に努めています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			該当者無し	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要な場合は今後も積極的に助言や研修を受けていく。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		自由参加のもとで、感染予防に務めながら地域で交流していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		時間を作って積極的に参加。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時やラインを活用して共通理解に努めている。	
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		必要な時に随時行っている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時や適宜必要ときに丁寧な説明と了解を取っています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		家庭訪問や面談、ラインで適切に支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		必要で無いと考える方もおられ、自由参加のもとでの開催を提案したい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付機関を設置し周知している。苦情に対し迅速に誠意あふれる対応を心がけている	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		お知らせ案内や利用表に随時発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の取扱には注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		防災の観点からも検討していきたいがコロナ禍のためできていなかった。今後積極的に地域の中で活動。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		保護者様への周知の徹底をはかります。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回の訓練。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を持って啓発に取り組んでいる。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		やむを得ず身体拘束を行う場合、組織的に決定し子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得て計画に記載	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			該当者無し	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		作成し危機感の共有と安全への配慮義務を徹底。	